

《医師用》

<p style="margin: 0;">意 見 書</p> <p style="margin: 0;">摩耶保育園 園長 殿</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">入園児童名 _____</p> <p style="margin: 0; text-align: center;">病名『 _____ 』</p> <p style="margin: 0;">症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので 年 月 日より 登園可能と判断します。</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">_____ 年 月 日</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">医療機関名 _____</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">医 師 名 _____ 印又はサイン _____</p>	
---	--

保育園は乳幼児が集団で長時間生活をともにする場です。感染症の集団発症や流行を出来るだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能なた状態となってからの登園であるようご配慮ください。

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

病 名	感 染 し や す い 期 間	登 園 の め や す
麻しん(はしか)	発症 1 日前から麻しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間(発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い)	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあつては、3 日を経過するまで)
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜炎(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目ヤニ等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157, O26, O111 等)		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続 2 回の検便によっていずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで